

# かざぐるま

ひと 未来 輝いて

2022 March

NO. **106**



デイサポートまつかぜ利用者の作品

## 特集

- (置賜・庄内) 障害者就業・生活支援センター
- 山形県地域生活定着支援センター

## トピックス

- 山形県社会福祉事業団における人材育成  
- 新規採用職員フォローアップ研修・3年目フォローアップ研修 -
- 梓園（米沢市）利用者居住棟が完成！
- ワークショップ明星園からのお知らせ

## 特集

# 『障害者就業・生活支援センター』 『地域生活定着支援センター』のご紹介

当事業団では、県及び市町村と連携を図り、障がい者及び高齢者保健福祉圏域や地域において、先駆性・専門性・広域性のある役割と機能を担ってきました。その中でも今回は、「障害者就業・生活支援センター」と「地域生活定着支援センター」についてご紹介をいたします。

## ▶ 障害者就業・生活支援センターについて

置賜障害者就業・生活支援センター（サポートセンターおきたま内）  
庄内障害者就業・生活支援センター（サポートセンターあおぞら内）  
（通称：サポートセンターかでの）

### ● そもそも、「障害者就業・生活支援センター」とは…

「なかぼつ、なかぼつ」と耳にしたことはありませんか？これは障害者就業・生活支援センターの中に記されている「・」（なかぼつ）からきています。業務としては、雇用、福祉、教育等の関係機関と連携しながら、障がい者の方々の就業及びそれに伴う生活に関する指導・助言、就業準備訓練のあっせん等、障がい者の職業生活における自立を図るため必要な支援を行っています。

### ● 「地域生活支援セミナー IN 庄内」報告

令和3年10月5日にオンライン会議ツールを活用した方法で開催しました。庄内地域でのセミナー開催は今年で19年目を迎えます。今年も企業様や関係機関（行政・福祉・教育・医療等）、利用者やそのご家族等、多くの方々にご参加いただきました。

セミナーに参加された方々からいただいた感想をいくつかご紹介いたします。

- 雇用するための準備や継続雇用するための支援などとても手厚く支援されていることにより、安心して働ける環境につながっていくことがよく分かりました。また、関係機関との連携も重要であることが分かりました。一番は企業の努力に感心しました。
- 本人及びご家族方の葛藤、苦しみ、努力が垣間見られ大変参考になった。受け入れ企業側も相応の努力をされていること、一番はご本人が一生懸命に前を向いて進まれていることに感動しています。
- 当事者、ご家族の発表はとても参考になるので続けてほしいです。



このセミナーを通じて更に就労を目指す方が増え、障がいのある方が安心して働き続けられるような社会となり、障害者雇用促進に繋がればと考えております。

当日5名の方に発表いただきました。お忙しい中ありがとうございました。

庄内障害者就業・生活支援センター  
援助主査 長谷川 梨香

## ▶ 山形県地域生活定着支援センターについて

### ● そもそも、「地域生活定着支援センター」とは…

司法と福祉の連携として、平成21年7月「地域生活定着支援事業（現在は、地域生活定着促進事業）」として事業化されたことにより、山形県においても当法人が県からの委託を受け、平成22年1月に「山形県地域生活定着支援センター」が開設されました。

当センターの業務は、刑務所等の矯正施設出所後の帰住先のない高齢者や障がいのある方に対して、住まいの確保や福祉サービス等の支援が受けられるようにする「コーディネート業務」の他、出所後も関係機関と連携し、伴走して支援していく「フォローアップ業務」や当事者・関係者から相談を受け介入する「相談支援業務」等をこれまで行ってきました。

これまでは『出口支援』が主でしたが、令和3年度からは「被疑者等支援業務」、いわゆる『入口支援』も開始となり検察庁や弁護士等と連携することも増えています。

### ● 「令和3年度山形県地域生活定着支援センターネットワーク会議」報告

上記のどの業務においても、関係機関との連携が不可欠であるため、毎年センター主催で「ネットワーク会議」を開催しています。今年度は、下記のとおり県内4圏域で開催し、あわせて227名の方にご参加いただきました。

#### <日程・会場>

- ・村山会場:10月6日(水)山形県総合運動公園 大会議室
- ・庄内会場:10月14日(木)出羽庄内国際村 国際村ホール
- ・最上会場:11月11日(木)新庄市民プラザ 小ホール
- ・置賜会場:11月16日(火)置賜総合支庁 講堂



10月6日 村山会場

#### <内容>

当センターの他に山形保護観察所、山形刑務所及び山形地方検察庁の業務説明と、「刑務所出所者の住まいの場の確保について」をテーマとして対談による事例検討を行いました。

当センターの実践事例から見えてきた課題（養護老人ホームへの措置入所、介護保険施設への入所及びアパート入居契約において身寄りがいない場合の身元保証等の課題、住宅確保要配慮者への居住支援制度の動向等）について、行政、施設関係者、民間保証会社、弁護士等のパネリストの方々より現状説明や提言等をいただくことで、山積する課題を参加者とも共有化することができ、今後の更なるネットワーク構築の必要性を再確認する場となりました。



10月14日 庄内会場

当日お忙しい中ご協力いただいたパネリストの皆様、ご参加いただいた皆様ありがとうございました。

山形県地域生活定着支援センター  
所長 高橋麻紀

# 山形県社会福祉事業団における人材育成

当事業団では、法人内部研修をととして専門性の向上、また多職種間での意見交換により、日々の業務における気づきや悩み等について共有を図りながら職員一人ひとりのスキルアップや支援力の向上につなげてまいりました。

新型コロナウイルスの感染拡大によって、昨年度から当事業団の研修スタイルは「集合形式」から「Web会議システムを活用した形式」に変化しました。研修スタイルは変わりましたが、方法について情報収集や実践を繰り返すことにより、高い精度で研修が進められています。

今後も、これまで以上に多くの職員が学びの場を持てるよう人材育成を進めてまいります。

なお、今年度、法人事務局総務人材育成課により実施された法人内部研修(下表)をご紹介します。その中でも「新規採用職員フォローアップ研修」と「3年目フォローアップ研修」についてピックアップし、研修受講により新たに設定された目標を参加した職員に紹介してもらいました。

令和3年度法人内部研修 実績			
研修名	時期	備考	
階層別研修	令和3年度新規採用職員研修	4/21 接遇の基本、権利擁護・虐待防止について 介護保険制度、障がい福祉制度、生活保護制度について	
	新規採用職員フォローアップ研修	6/16 傾聴力向上講座、2年目を迎えた職員に期待するもの	
	3年目フォローアップ研修	9/14 アサーティブなコミュニケーション講座、3年目職員に期待するもの	
	監督者研修（主任級）	9/2	プレゼンテーション
		9/24	
	監督者研修（業冠主査級）	7/21	ナレッジマネジメント
	監督者研修（専門員級）	8/2	
	管理者研修	5/12	財務処理、労務管理
	業務職員研修	11/18	合理的配慮と倫理綱領について、虐待防止と権利擁護について 山形県社会福祉事業団職員としての心構え
嘱託職員及びスタッフ職員			
テーマ別研修	感染症対策研修	9/29	各テーマに沿った内容
	意思決定支援研修	12/22	
		2/17	
	看護職員研修	2/22	



## 新規採用職員フォローアップ研修受講者 「中堅職員に向けての目標」



事務局 主事 **柏倉大智**

私の中堅職員にむけての目標は仕事に対して計画的に取り組むことです。時間に余裕を持って仕事をすることで、ミスをした際にも落ち着いて対応でき、必要な手続も忘れずに行うことができると感じる場面が多くなりました。

初心を忘れず、より良い業務の取組方を常に考えながら努力したいと思います。



大寿荘 准看護師 **館石さおり**

初心を忘れず看護業務を行いながら、多職種との連携を図り、視野を広げ、より良い支援をしていきたいと思えます。

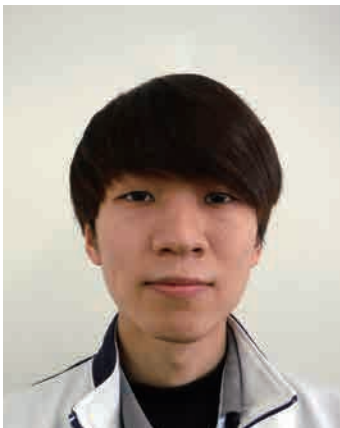


ひめゆり寮 援助員 **金田康一**

支援のスキルや技術の復習を行い、より理解を深めつつ、後輩の育成に努めたいです。(ケアマネージャーや介護福祉士等のテキストや資料を読み返して)

傾聴力を高め、他の職種と連携し、真心のこもった支援やチームケアを実践していきたいです。

## 3年目職員フォローアップ研修受講者 「目標を新たに…」



寿泉荘 援助員 **平田直人**

3年目にもなり、自分から主体的に発言・行動することが増えてきました。現在は、自身の所属する棟の利用者のことを中心に状態観察を行っていますが、今後は他の職員とも意見を交換し合い、施設全体のことを見ることができる職員を目指していきたいです。



福寿荘 援助員 **佐藤志乃**

「この業務をすることで利用者は、どう感じるのか?」「今の利用者の支援は、これでいいのか?」「何を必要としているのか?」など、目的・目標を達成するためには自分はどうすればいいのか、考えられる職員でありたいです。



梓園 理学療法士 **戸田直智**

自分の業務はこなせるようになってきたので、自分が中心となって他部署との調整を行い、利用者の生活の質の改善や、新しいリハビリへ挑戦できるような職員を目指したいです。



吹浦荘 管理栄養士 **阿部千咲**

私は、今後発信力を高めたいと思っています。現在3年目となり、食事サービス全般や栄養ケアは栄養士だけの力だけでは行えず、多職種・同職種との連携が重要と感じる場面が多いです。私は多職種・同職種を巻き込んでいくための発信力が足りないと感じています。これからは発信力を高め、利用者さんに喜んでもらえる食事サービスや一人ひとりに合わせた栄養ケアを行えるよう、密度のある連携ができる職員を目指したいと思います。

## 梓園 (米沢市) 居住棟の完成

令和3年10月25日に利用者居住棟が完成しました。  
現在は通所管理棟の建設中です。  
完成後には、職員・利用者の方々の感想等を掲載します。  
なお、完成予定は令和5年7月となります。

(外観)



(食堂)



(ラウンジ)



(廊下)

## 明星園 製品の紹介

帆布トートバッグ (大)  
**2,500円**

デコパージュ  
**200円**

洗えるマスクケース  
**300円**

メモ帳  
**150円**

帆布トートバッグ  
ツートンカラー  
**1,500円**



オーダーメイドでの商品制作も承っております。(一部ご希望に沿えない場合がございます)

【お問合せ】 山形県ワークショップ明星園

〒990-0811 山形市長町728番地の2 TEL:023 (684) 3781 FAX:023 (684) 3876

山形県社会福祉事業団ホームページでは、施設情報や職員採用情報を随時更新しています。

URL はコチラ → <https://www.ysj.or.jp>